



2020年2月13日

日本鉄道労働組合連合会

ジェイアール・イーストユニオン第6回中央委員会

前へ！ 民主的労働運動の継承を！！

イーストイノベーションの実践を！！

ジェイアール・イーストユニオンは、2月10日、東京都港区勤労福祉会館にて第6回中央委員会を開催した。中央委員、部会代表者、傍聴者らが出席し、来賓としてJR連合の中山耕介組織部長、さらには2016年と2019年7月の参院選でそれぞれ支援したU Aゼンセン組織内議員の川合孝典参議院議員と田村まみ参議院議員も出席した。



冒頭、挨拶に立った菅野一位中央執行委員長（JR連合副会長）は、この日、JR東労組から新たな労働組合が分裂し結成されることに触れ、「この間JR東労組から分裂した労働組合は、イーストユニオン以外は、同じ色を持つ役員活動家らが組織をつくってきた。今回の分裂・新労組結成の動きも、活動家を拡散させて組織温存を図っているだけだ」との認識を示し、さらには「私たちがめざすものは、会社を考え、働く仲間を考え

た民主的労働組合の継承であり、創造である。全組合が一体となって新たな組織の変革を成し遂げよう」と力強く訴えた。

また、質疑ではステーションサービスで働く仲間の労働条件改善をはじめとする2020春季生活闘争や業務課題、組織拡大などの発言があった。さらに、職場の社友会の社員から「ベア頑張って取ってください」といった声が寄せられたことも紹介された。

最後に、働く社員のためには労働組合が必要であり、真の企業内労働組合をともに築き継承するとの想いを、出席者全員による団結ガンバローで確認し合った。